

意見交換会実施報告書（各種団体）

【3・4班】

開催団体	JA北さつま（農産部門）	参加人員	29人
開催日時	平成28年2月2日（火）15：30～16：30		
開催場所	ホテルオートリ		
出席議員	3班；永山伸一/中島由美子/上野一誠/福田俊一郎/森永靖子/森満晃 4班；宮里兼実/下園政喜/新原春二/川畑善照/大田黒博/谷津由尚 （進行；永山 伸一 記録；谷津 由尚）		

意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

テーマ；水稲・園芸・果樹・茶業部門における北さつま農協川内管内における農産物の現状と振興方策について

《意見交換の概要》

まず現状の説明をいただき、その後意見交換に入った。概要は以下のとおり。

1、現状の説明

米；平成27年度の実績見込みで、米は近年にない高水準の実績。産地の信用獲得を目指す。

お茶；計画未達。お茶離れ対策と精算状況のクリーン化が課題。

ごぼう；省力化が普及。個々の面積が増えてきた。

らっきょう；販売環境が良く、昨年を上回る。市場での評価が高い。

いちご；本年度は台風の影響での苗不足及び異常気象の影響で出荷数は少ない傾向となる。

ゴーヤ；生産者の高齢化等の影響で、生産量の減少、気象影響もあり生産数も減少している。

やまのいも；本年は台風の影響で生産量は減少傾向。

きんかん；本年度は台風の影響があり低調な出荷。高齢化もあり懸念。安全なきんかんの生産に徹底したい。

ブドウ；共販については若干未達で終了している。

2、平成28年度の取り組みについて

① 地域営農ビジョンにハウスきんかんを対象とし、進捗管理を徹底する。

② 多様な農業者の多面的な役割の発揮

③ 販売体制の強化、生産員の底上げ

④ 「食の安心・安全」への対策

⑤ 利用施設の効率的な運用と再編・整備に向けた検討

さらに取扱い製品数を増やして、拡大を図っていきたい。

3、意見交換

◆きんかんの生産がはじまって30年を超えた。設備も建屋も老朽化してきている。

降灰事業も必要。3名一組を、旧川内で3名、旧薩摩郡で3名作りたいが厳しいので何とか枠を取って欲しい。

- ◆らっきょうで困っていることは、雨が多いと水につかってしまうこと。これでは作付けもできない。生育にも悪影響がある。
- ◆やまのいもの生産者が増えたとのことだったが、現在は50名弱。過去は100名以上だった。平均年齢も65歳以上。何とか若い人がとけ込めないか。方策を議会で検討して欲しい。
- ◆野菜全体を見た時に、これまでは個人が中心だった。他の産地と競争するには作物別の特区を作り、集中して仕事をする事で面積を今の3倍にできないかを考えている。
野菜の生産量の拡大の余地はある。ゴーヤも180人から現在は半分となった。露地栽培は安いこともある。施設に変えたいが事前の準備等が必要となる。資金を含む課題があり、個人では難しいので、団体で行えば何とかできるかと思える。支援策を求める。
- ◆ごぼうは川内で一番伸びている品目。現状1億4000万の売上。何とか生産拡大に協力をお願いしたい。
- ◆茶は13工場あり113ha。お茶は1次加工が必要で茶工場が必要となる。
後継者が多いと言われているが、これは大型機の投入により作業が楽になったことが背景にある。しかし借金が増えた。返済には面積を拡大するしかない。ここにきて茶離れが進み、価格が下がってきている。できるだけ品質の良いものをつくるのが重要だが、市場価格が下がってきていることはどうしようもないことである。現状がいっぱいで、六次産業化の取組みはリソースが無く厳しい。
- ◆いちごの実態は、生産者160名が今は40名程度となった。さつまとめと、さがほのかの品種。さつまとめは苗管理が厳しい。さがほのかは病気を持って来る。土壌消毒を上手くやらないと、今後は難しい。商品開発に注力する必要がある。高齢化も問題であり、今年も何名かがやめている。
 - 現状問題の共通点は、高齢化・設備の更新費用、排水対策等といえる。
 - 生き物を扱う1次産業は大変。六次産業化を進めているが、流通と加工業が一緒になって企業化することが大事ではないか。そうやって若年層を取り込むことをやる必要性を感じる。
 - 行政がやるべきこと、JAでやること、生産者がやること、それぞれあると思う。高齢化対策は三者でやるべきではないかと思う。部門ごとに、早くこれを進めるべきと思う。
そのための協議会等を立ち上げる必要を感じている。
 - らっきょうの冠水対策は過去やったとの認識だった。補助金もあるので再度整理したい。

《主な要望等》

- ◆生産者の六次産業へのハードルは高い。生産で手一杯である。それと商品開発が課題。
商品開発はどかが担当してどうやっていくのかの方法論やアイデアとのマッチングが必要。
- ◆畑の効果的な活用方法について、有効な政策が欲しい。

※今後の政策等への展開の必要があることから、出された意見は要約してはおりますが、基本的に全て記載しております。ご了承願います。